

第1学年美術シラバス	使用教科書	開隆堂 美術 I	担当教員	
------------	-------	----------	------	--

【学習の目標】 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- ① 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- ② 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- ③ 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

【授業中のポイント】

- ・授業で使うものの準備をする。(→忘れると何もできない。限られた時間を大切に。)
- ・集中して制作に取り組む。(→より良い発想・作品につながる、ケガや失敗が少なくなるなど、メリットが沢山あります。)
- ・発想する際も制作する際も、手をできるだけ止めない。(→思わぬアイデアに繋がったり、上手く作れたりすることにつながる。)
- ・制作途中でも、授業終わりなどに周りの生徒の作品を見合い、お互い良い刺激をもらう。(→高め合おう！)

【家庭学習のポイント】

- ・常にアンテナを張ることを心がけましょう。自分は何が好きなのか、それはどうしてなのか。何かをキレイだな、いいな、と思った瞬間を覚えておいて、後でそれを分析する。そんなことの積み重ねが、美術で作品を制作する際にとても大切になってきます。

【成績の付き方】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう人間性
評価するもの	・人物クロッキー ・作品の完成度 ・材料用具を巧みに扱った結果の作品の美しさ ・色・形・素材等の特性を理解している選択か ・・・等	・アイデアスケッチ ・明確な作品の主題（テーマ性） ・豊かな発想、テーマを工夫して表現しているか ・DVD 鑑賞カード ・・・等	・粘り強く最後まであきらめず制作しているか ・知識、技能、思考力、判断力、表現力を巧みに使った結果が提出物全てに表れているか ・提出期限を守れない人、授業に本気で取り組まない人等は減点します

【1年の制作のおおまかな流れ、補足】

1 学期・・・オリエンテーション、レタリング、モダンテクニック、インサイドヘッド（平面作品）

2 学期・・・紙でここまでできます！ 栞づくり、Art で推し活（立体作品）

3 学期・・・名画の謎に迫る（模写）

※1 年を通して、授業の最初の5分間でクロッキー会を行います。

※学期の終わりや制作の途中に、学びに関連した DVD の鑑賞を行います。

※5月からアクリル絵の具を使います。ない場合は4月末の校内業者販売を活用して準備してください。

※持ち物、授業の受け方、評価の付け方の詳細は、授業中に説明します。